

入学試験と卒業のない学園

高齢者教室への参加のすすめ

高齢者教室委員 松木 伝三

高齢者教室には入学試験はない。しかし、「長寿者」「健康な人」、この二つは要求され、天の賦然たる試験を通過しなければならぬ。この篩い目に残り、「真面目」「知識欲旺盛」な人ならだれでも入学自由で卒業はない。

形の試験こそないが、この条件を具備して教室に通うことは一つの誇りで、老人最上の幸せ者ではあるまいか。

こうした人たちが現在中央高齢者教室に二百七十人ほど籍を置き、月々の開催日を首を長くして待ち、毎月百八十人くらい出席している。

この数は老人全体のわずか一部にしか過ぎないが、この人々は教室に通うことを老後のただ一つの生き甲斐とさえ考えている状態である。

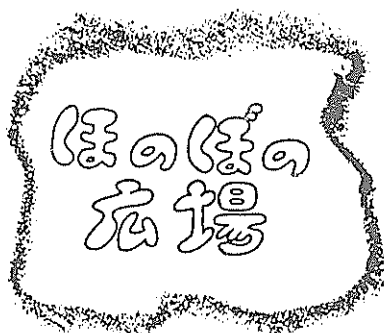
老人福祉法の制定以来、会合や集団はすいぶん多いが、高齢者教室ほど老人の要求するほんとうの生き方を満たしてくれる集団は少ない。なぜもっと多くの人が参加しないのかと私はいつも思う。

会のよさを知らない人、知っていても見向きもしない食わず嫌ひもあるに違いない。「この年になつていままら勉強でもあるまい」とか「教室で習うくらいことは私は知っている」とかそんな頑なこ

とを言わないでいっぺん食ってみないだろうか。一度味わったら病み付きになるのが現実の姿である。教室開始十四年にして期待以上のいろいろな効果が認められだした。だから今日の栄えがある。学習を通してはね返ってくる副効果の意外に多いことにいまさらながら驚く。

教室は学習ばかりでなく社交交遊の場でもある。毎月友達と顔を合わせるのとはとても楽しい。ややもすれば閉ざされがちな孤独の扉

を叩き開いてくれる。それは健康増進、長寿へと広がっていく。最後に言いたいのは、男性の参加をもっと多くということである。教室に活気がみなぎってくることはまちがいない。男性諸賢の関心を切望してやまない。



『ほのぼのの広場』に、あなたの身の回りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先・〒783 南州市大浦甲三〇一 南州市役所内広報委員会まで。



バイテク栽培



ご家庭で話し合ってから答えてください。答えはこの広報に出ています。



■もんだい・〇〇保育所の移転新築工事が完了し、3月13日に落成式が行われました。

■しめきり・4月15日

■あて先・〒783 南州市大浦甲三〇一 南州市役所 広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者のなかから抽選で五人に図書券を進呈。

第101回当選者発表(敬称略)

(応募総数43通)

■答え・十市

■当選者

岡上智行(片山)

田中佐季(物部)

坪田麻美(奈路)

西川愛(比江)

村田ヒデ子(十市)